

令和2年度包括外部監査の結果および意見に対するその後の措置状況について

所属名 観光振興局・道路保全課

項 目	結果報告および意見	左記に対するその後の措置状況
個別事項 (個別事業)	<p>(通しNo.31)ビワイチ観光推進事業 [ビワイチ体験について] (意見)</p> <p>外部監査人補助者がビワイチを体験したが、以下について改善を検討いただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 低速コースにおいて安定した走行をしづらい箇所があった点 ② 青く色付けられている線や矢印が途切れる箇所もあった点 ③ ビワイチルートとして上級コースと低速コース(ナショナルサイクルルート)があったが多くの人に知ってもらえるよう効果的なPRが求められる点 ④ 上級コースと低速コースの案内のわかりやすい表示を進めていただきたい点 ⑤ 交通量の多い車道等で自転車が安心・安全に走行できるスペースの確保が必要と感じた点 ⑥ 低速コースで、高速で走行するロードバイクなどが走る場合は歩行者や地域住民との接触事故が生じる可能性があり危険である点 ⑦ ビワイチアプリの内容や操作性について工夫していただきたい点 ⑧ ビワイチの体験者を観光に結び付けるために、地域観光に結び付きやすい仕組みづくりや効果的なPRに関する施策が重要である点 ⑨ びわ湖一周サイクリング認定証について、ビワイチを体験していても存在を気づかないと感じたこともあり、ビワイチの関連情報の充実を図る必要がある点 ⑩ 琵琶湖の東側に比べて西側は店舗や自動販売機等が少なく、空白地域の解消のためサイクルサポートステーションなどの拠点の充実を図る必要がある点 <p>なお、自転車の通行空間整備は重要であるが、その利用者が交通ルールやマナーを守らないとトラブルの原因となる。地域住民が安全に生活できるように、ビワイチを体験する上でのルールやマナーを整理し、これを周知していくことも重要である。</p>	<p>地域住民の安全な生活等を重視し、関係者との連携のもと、低速コース(ナショナルサイクルルート)において、路面標示や案内看板などの整備を進めてきた。案内看板の設置は完了し、路面標示は今年度、整備を完了する予定である。引き続き、上級コースにおいても、走行空間の整備を進めるとともに、ビワイチに関する効果的な観光PRやマナーアップ促進など、ハードおよびソフトの両面から一層の充実に努めていく。</p>